## 様式1

# 長野県出資等外郭団体改革状況検証シート

(公益・特別法人用)

【対象決算年度:令和2年度】

# 1 団体の概要

		大長野県ア 里7丁目1番5	アイバンク・臓器移植推進協会 5号)				代表者	理事長 関 隆教
設立根拠	整備法		設立年	平成元年	10月	県所管部局 (課)	健康福祉部(医療政策課)	
設立の沿革	取ぶい。石泉で	設立目的(寄付行為・定款上)						
H6 (財)長野県	腎バンク設立 腎バンク・アイバン・ アイバンク・臓器移	ク協会	眼球提供者の登録及び角膜のあっ旋を行い、併せて広く臓器移植に関する知識の普及・啓発を行う。					
H22 会 公益	益財団法人長野県ア	マイバンク・	具体的な	事業内容				
臓器移植排	・眼球提供者の登録管理 ・角膜移植術に必要な角膜斡旋 ・角膜移植に係る感染症の検査 ・臓器移植に関する知識の普及・啓発							
			事業執行状況を示す主な指標					
	○眼球提供者新規登録件数 H30:853人 R1:546人 R2:113人 ○献眼者 H30:17人 R1:16人 R2:10人 ○角膜斡旋数 H30:35件 R1:28件 R2:16件							
基本財産(円)	260,000,000	うち県の出 捐額(円)	40,00	0,000	県出捐率(%)	15.4%		·出捐額(円)·出捐率(%) 151,000,000(58,1%) 41,594,000(16,0%)

#### \*役職員数は各年度4月1日現在

	年	度		H29	H30	H31(R1)	R2
		常	勤	1	1	1	1
	役 員 数		うち県職員				
役	1、反	非 '	常勤	16	16	16	16
職			うち県職員	1	1	1	1
		常	勤	1	1	1	1
員	職員数		うち県職員				
数		非 '	常勤	1	1	1	1
	常勤	助職員計		2	2	2	2
	非常	勤職員計		17	17	17	17
	県職員計(	非常勤役員	除く)	0	0	0	0

\*次表は令和2年度の状況で、()内は令和元年度(平成31年度)

(単位:千円、%)

収	経常収益(A)		•	10,864		(13,564)		補	助金	5,150	(5,194)
益等	経常費用(B)			12,188		(13,514)			事業費	2,575	(2,597)
守	経常損益(A)-(B)			Δ 1,324		(50)	県		運営費	2,575	(2,597)
況	当期損益			△ 1,324		(50)	費	交	付金	0	(0)
財	公益事業比率	69.1	(67.4)	正味財産比率	99.9	(99.9)	受	負	担金	0	(0)
務	経常比率	89.1	(100.4)	流動比率	3,764.6	(2,510.2)	文	委	託料	0	(0)
• 資	人件費比率	63.4	(58.1)	固定比率	97.1	(96.7)	入	貸	付金	0	(0)
産	管理費比率	30.9	(32.6)	固定長期適合率	97.1	(96.7)	状	出	捐金	0	(0)
関	事業支出伸び率	△ 9.8	(6.9)	借入金依存率	0.0	(0.0)			失補償年	0	(0)
係指	補助金等比率	47.5	(38.9)				況	度	末残高	U	(0)
標									件費関係費 (再掲)	5,150	(5,194)

## 民間(NPO含む)との競合状況

献眼あっせん業は厚生労働大臣が認可した事業であり、県内では当協会のみがこの事業を行っている。

# 2 団体の改革推進の状況

改革基本方針協会の事業推進に対して積極的に支援する。

	改革基本方針		実 施 状 況
実施年月		実施年月	
H16/4	協会職員の人件費の補助金化	H16/4	職員2名の人件費相当の補助金化
H16/4	事業運営のあり方検討	H16/4	自主財源の確保(募金箱)
H17/4	普及啓発事業への人的支援	H19/4	非常勤職員1名の減
		H21/4	角膜斡旋手数料の引上げ(90千円→100千円)
		H24/4	角膜斡旋手数料の引上げ(100千円→150千円)
		H26/12	会計規程等の見直し

## 経営計画等の策定状況

・脆弱な組織体制、財政運営を余儀なくされているが、理事会、評議員会において今後の経営の健全化について検討している。・献眼登録者、献眼者の増に向けての施策の実施。

#### 情報公開の取組状況

・当協会のホームページを活用し、業務内容や事業成果、決算状況等の財務内容を掲載し情報公開に努めている。・個人情報の管理に留意している。

#### 監査等結果

・平成27年度以降、年2回の監査を実施。全ての会計帳簿、その他附属明細書及び事業報告並びに財産目録等について調査の結果、 「適正に処理されている」旨の報告を得ている。

団体の課題等	
[団体記載欄]	[県記載欄]
○献眼登録者、献眼者が減少の傾向にあり、臓器移植の普及・啓 発に努める必要がある。	協会が実施している角膜の斡旋、臓器移植の普及啓発は、臓器不全 に苦しむ方々を救うものであり、より一層の活動の活性化を期待す る。

【財務の状況】(公益・特別法人用)

団体名:(公財)長野県アイバンク・臓器移植推進協会

① 正味財産増減計算書

(単位·壬田)

$\bigcirc$ 1	ርሣን	初连坛	1 //火	<u> </u>			(単位:十円)
					平成30年度	平成31年(令和元年)度	令和2年度
	経済	常増減	で	部			
		経常	収	益 (A)	14,415	13,564	10,864
		-	うち	基本財産運用益	3,787	2,546	1,863
		[	うち:	受取会費	276	222	142
		[	うち	事業収益	5,250	4,200	2,400
			うち:	受取補助金等	3,839	5,282	5,160
				うち受取国庫補助金			
				うち受取県補助金	3,774	5,194	5,150
般				うち受取市町村補助金			
正		経常	費月	<b>用</b> (B)	12,647	13,514	12,188
味		[	<b>うち</b>	事業費	8,866	9,107	8,427
財				うち公益事業費	8,866	9,107	8,427
産				うち給料手当	4,825	5,052	5,071
増		-	うちり	管理費	3,780	4,407	3,760
減				うち役員報酬	1,320	1,500	1,500
の部				うち給料手当	735	1,300	1,156
		経常増減(損益)額(C)=(A)-(B)			1,768	50	△ 1,324
	経済	常外堆	減	の部			
		経常	外収	Z益 (D)			
		経常	外費	計用(E)			
		経常	外埠	曽減額 (F)=(D)−(E)	0	0	0
	— 拍	投正味	財	産増減(当期損益)額(G)=(C)+(F)	1,768	50	△ 1,324
	— 舟	投正味	財	産期首残高 (H)	284,390	286,158	286,208
	— 舟	投正味	財	産期末残高 (I)=(G)+(H)	286,158	286,208	284,884
指	受耳	仅補助	]金	等			
増定		うち受	を取り	国庫補助金			
減正		うち受	を取:	地方公共団体補助金			
の味		钥指定	正	味財産増減額(J)	0	0	0
部財		定正味	財	産期首残高(K)		0	0
産	指足	定正味	財	産期末残高(L)=(J)+(K)	0	0	0
当期.	正味	財産均	曽洞	t額 (M)=(G)+(J)	1,768	50	△ 1,324
正味.	財産	期首列	残高	ቼ (N)	284,390	286,158	286,208
正味	財産	期末列	残高	(O)=(M)+(N)	286,158	286,208	284,884

# ② 貸借対照表

	CID/I/M/X	平成30年度	平成31年(令和元年)度	令和2年度
	流動資産	10,219	9,890	8,395
	うち現金預金	9,319	9,440	8,323
	固定資産	276,712	276,712	276,712
資	基本財産	260,000	260,000	260,000
^`	うち土地			
	うち投資有価証券	259,619	259,660	259,585
	特定財産	16,541	16,541	16,541
産	うち退職給与引当資産			
	うち減価償却引当資産	1,541	1,541	1,541
	その他の固定資産	171	171	171
	資産合計	286,931	286,602	285,107
	流動負債	773	394	223
<b>4</b>	うち短期借入金			
負	うち未払金	597	293	121
	固定負債			
債	うち長期借入金			
	うち退職給与引当金			
	負債合計	773	394	223
	指定正味財産			
_	うち基本財産への充当額			
正	うち特定資産への充当額			
財	一般正味財産	286,158	286,208	284,884
味財産	うち基本財産への充当額	260,000	260,000	260,000
,	うち特定資産への充当額			
	正味財産合計	286,158	286,208	284,884
負債	及び正味財産合計	286,931	286,602	285,107